

学校運営協議会議事録

作成日 令和6年6月27日

作成者 川角 雄三

会議名:令和6年度 第1回小田原高等学校 学校運営協議会

日時:令和6年6月26日(水) 15:10~16:00 場所:第一会議室

時程・議題

- (1) 学校運営協議会委員委嘱等 14:00~14:15
- (2) 全日制授業観察 14:25~15:00
- (3) 学校運営協議会(司会 副校長 / 記録 溝淵教諭・川角教諭):15:10~16:00

【学校評議委員会委員、学校担当職員】

1. 会長より
2. 出席者紹介
3. 学校運営協議会各部会について
4. 令和6年度 学校評価 目標設定 について(各グループ) 全日制課程
 - [菊地原孝祐・総務グループ 総括教諭]
 - [山口 真也・教務グループ 総括教諭]
 - [由元 美保・研究開発グループ 総括教諭]
 - [田中 雄士・研究開発グループ 総括教諭]
 - [三井 栄慶・キャリアガイダンスグループ 総括教諭]
 - [飯塚 貴仁・生徒支援グループ 教諭]定時制課程
 - [柴田 訓一・学習支援グループ 総括教諭]
 - [改田 晃・教育活動推進グループ 教諭]
5. 質疑応答・委員からの意見聴取

(4) 閉会

(3) 協議

- ①会長より
- ②出席者紹介
- ③全日制課程

[菊地原孝祐・総務グループ 総括教諭]

- ・令和6年度の計画と昨年度の報告。
- ・地域や行政等と連携し防災訓練・研修会等を実施する。
- ・学校説明会・学校カミングデー・県西地区合同説明会等を開催、地域から信頼される学校づくりを推進する。

[山口 真也・教務グループ 総括教諭]

- ・成績処理や入学者選抜での事故防止のために、点検などのシステムづくりを行う。
- ・校内マニュアルを活用した組織的な業務遂行を徹底する。

[由元 美保・研究開発グループ 総括教諭]

- ・共通科目「理数」における課題研究及び組織的な教科等横断型授業を実践する。
- ・県西地域の企業等の連携を図る。
- ・学校設定科目「Odatech II」の授業を実施する。

- ・海外高校生との協働及び海外研修・国際交流に努める。
- ・地域及び小・中学校交流などに尽力する。
- ・今年はSSHとして次年度の中間評価にむけた重要な年になるので、学校に関わる全てに協力を依頼する。

[田中 雄士・研究開発グループ 総括教諭]

- ・キャリアガイダンスとの連携を図り、履修希望者に沿った講座を編成し、時間割を作成する。

[三井 栄慶・キャリアガイダンスグループ 総括教諭]

- ・卒業生や社会人の講話等のキャリア行事で生徒のキャリア形成を支援するとともに、補習・講習及び実力試験等の学習支援を通して、難関大学への進学意識を高める。
- ・生徒の学習取り組み状況や進路希望情報を共有し、進路実現に向けた組織的な支援体制を整える。
- ・進路に関する具体的な内容と事業を提示し、不透明性の改善を図る。

[飯塚 貴仁・生徒支援グループ 教諭]

- ・文化祭(小田高祭)といった学校行事を通して、課題解決能力やコミュニケーション能力の育成を図る。
- ・部活への支援、個の支援(SSWやSCとの連携)を行うことによって、支援体制をより充実させる。

定時制課程

[柴田 訓一・学習支援グループ 総括教諭]

- ・今年度は生徒数が増加したので、それにより幅広い授業の発展に繋げる。
- ・少人数制とICT活用によって学びの実感を増やし、教員とのコミュニケーション深化に努める。

[改田 晃・教育活動推進グループ 教諭]

- ・大学に留まらず企業や専門学校のような進路に対する、進路支援体制の強化をインターンシップの実施等で図る。
- ・地域等との連携として地域貢献活動を行った。
- ・地域業者サポートセンター等との連携、支援の充実に努める。
- ・防災の充実として、シミュレーションの計画を立てる。

④質疑応答

◎[会長]

生徒の成長の様子をもっと保護者に発信していただき、透明化に努めていただきたい。地域に向けた発信もして、開かれた学校として地域と連携を図って行って欲しい。

◎[委員]

教科指導に留まらず、他の面でのキャリア教育の在り方を検討してほしい。地域資源を有効活用して、相互的な援助を促したい。SSHの学校内での理解、定時の中でも途中退職の少ない就職を目指して欲しい。

◎[委員]

生徒が楽しそうで、先生方との距離が良好であると感じる。挨拶による教育的意義を再度確認されたい。また、地域への連携を今一度再検討してほしい。

◎[全日制PTA会長]

小、中学校への交流に関しては、まだ十分ではないと感じている。高校生の姿を見せることによって、地域貢献に繋がるのではないかと。また、近隣地域以外から通う生徒が多いことに驚いたが、地域の伝統も守って欲しい。

◎[定時制PTA会長]

生徒の活動に感嘆した。定時制の人数がもう少し増えたら、より活発な教育活動になるだろうと期待している。現状のよい取り組みをより中学校にアピールして欲しい。中学校からは高校の活動が見えにくいので、様々な方法で発信してほしい。

◎[会長]

授業は様々な工夫が凝らされていて感動した。小田原高校は歴史がある伝統校なので、地域の信頼や期待が大きい。それに応えるようにしてほしい。学校の動きをHPに留まらず、新聞や他のメディアにも積極的に載せて欲しい。

⑤その他

今後の予定

第2回 11月 14:50～17:00(予定)

第3回 3月 15:30～16:30(予定)

[資料]

①配付資料一覧

①令和6年度 第1回次第・座席表(裏面)

②令和6年度小田原高等学校学校運営協議会委員構成表

③神奈川県立学校に設置する学校運営協議会の運営等に関する要綱

④全日制資料(SSH 関連資料)

⑤定時制資料(地域貢献活動資料・進路関係資料・部活動実績一覧 等)

⑥全日制公開授業一覧

⑦令和6年度 学校要覧

⑧令和6年度 学校案内(全日制・定時制)

⑨令和6年度 進学のおしり(全日制)

⑩神奈川県立学校のコミュニティ・スクールの手引き